

# 木曽林務課だより



三寒四温で春の訪れを日増しに感じる時期になってきました。  
今月号の木曽林務課だよりは、嬉しいニュースをお届けします！！

## 令和2年度長野県ふるさとの森林づくり賞が決定しました

長野県ふるさとの森林づくり賞は「長野県ふるさとの森林づくり条例」の基本理念に基づき、森林・林業の健全な発展に資するため、地域の森林づくりや優れた林業技術や木材利用などで、その振興に功績のあった個人または団体に賞を贈るものです。

木曽地域からは、本年度2名の方が受賞され、新型コロナウイルス感染症対策から集めた式は行わず、2月24日に木曽地域振興局長から表彰状の授与がなされました。

賞名	受賞者	功績事項
ふるさとの森林づくり大賞	のむら ひろむ 野村 弘 氏 木曽郡上松町	野村さんは、昭和48年、木曽郡上松町に野村材木店（現・のむら木材㈱）を設立し、木曽ヒノキをはじめとする県産材の消費者目線に立った良質な製品の開発・製造に携わってこられました。 また、全国町村議会議長会長など地方自治分野において様々な要職を担われる一方、平成24年から木曽官材市売協同組合理事長、長野県木材協同組合連合会理事（木材流通部会長）を歴任し、県内の林業・木材産業の発展に大きく寄与されました。 近年では、新型コロナウイルスの産業への影響が広がる中で、地元のヒノキ材を利用した「消毒液スタンド」を考案し、県産材の可能性の魅力を発信するための取組を精力的に続けておられます。
森林づくり推進の部 長野県 猟友会長賞	やまだ こうへい 山田 興平 氏 木曽郡南木曽町	山田さんは、平成15年から平成25年の10年間に渡り、木曽猟友会南木曽支部長始め木曽猟友会副会長、木曽猟友会長の役職を歴任され、木曽猟友会の運営に御尽力いただきました。 また、長野県猟友会の狩猟指導員を務められ、40年以上の狩猟歴で事故及び法令違反もなく、他の会員の模範となっています。 近年は、農家を始め住民を悩ませている有害鳥獣の駆除に、長年培われた経験や知識、及び捕獲技術をもって多大な貢献をされるとともに、若手猟友会員に対する指導・助言を行うなどの幅広い活動を継続されています。